

長野地域スクラムビジョンの成果指標（KPI）について

(1) 現状

下表のとおり、連携中枢都市圏の3つの役割ごとに成果指標を設定している（長野地域スクラムビジョン 67 ページに掲載）。

成果指標

分野	指標	策定時		平成 28 年度実績		
圏域全体の 経済成長	年間有効求人倍率（倍） （長野県及び全国との比較指数）	（暫定数値） 1.35	H26年10月～ H27年9月	1.44	H27年10月～ H28年9月	
		長野県との比較 1.11	圏域/長野県	長野県との比較 1.06	圏域/長野県	
		全国との比較 1.15	圏域/全国	全国との比較 1.09	圏域/全国	
	個人市町村民税【就労所得分】 当初総所得金額（円） （長野県における割合）	622,235,777 27%	H27 年度	634,966,423 27%	H28 年度	
	観光消費額（百万円）	59,454	H26 年	90,669	H27 年	
	参考 指標	付加価値額（全産業）の 長野県における割合	33%	H24 年	33%	H24 年
			圏域内付加価値額（929,562 百万円） /長野県付加価値額（2,794,968 百万円）		圏域内付加価値額（929,562 百万円） /長野県付加価値額（2,794,968 百万円）	
		労働生産性（全産業）の 長野県との比較指数	0.89	H24 年	0.89	H24 年
			圏域内労働生産性（3,493 千円/人） /長野県労働生産性（3,911 千円/人）		圏域内労働生産性（3,493 千円/人） /長野県労働生産性（3,911 千円/人）	
	高次の都市 機能の集 積・強化	JR 長野駅乗車数（千人）	7,622	H26 年度	7,726	H27 年度
圏域内インターチェンジ乗降車 数（千台）		19,745	H26 年度 圏域内 IC 出入り口交通量	20,166	H27 年度 圏域内 IC 出入り口交通量	
生活関連機 能サービス の向上	出生者数（人）	4,114	H26 年	4,051	H27 年	
	人口社会動態（人）（転入者数- 転出者数） ※従前地または転出先不明を含む	▲899	H26 年	▲121	H27 年	

(2) 新たな成果指標

本年8月に開催された連携中枢都市連絡会議において、総務省から、全国の連携中枢都市に対し、本年度を目途に、施策（取組）又は事業に成果指標（KPI）を設定するよう要請があった。

本市においても、総務省が示した「重要業績評価指標（KPI）の設定例」（裏面参照）を参考に、本年度中に設定したいと考えている。

重要業績評価指標（KPI）の設定例

○ 施策又は事業に重要業績評価指標（KPI）を設定

- ア 圏域全体の経済成長のけん引
- ｂ 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業を核とした戦略産業の育成

〔具体例①〕（施策（取組）にKPIを設定する場合）

<p>【連携協約で定める取組】</p> <p>産学金官民連携による新技術や新製品開発への支援、圏域の特性を活かした創業促進やイノベーションの実現及び異分野異業種交流など、戦略産業を育成・支援する取組</p>

重要業績評価指標（KPI）	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	新規創業件数	○件（平成○年○月）	○年（平成○年度）

〔具体例②〕（事業にKPIを設定する場合）

事業名	インキュベーション施設等活用事業					関係市町村
事業概要	長野市ものづくり支援センターの施設活用を圏域の企業向けに広げる。また、各市町に配置されているコーディネーター等の連携による広域的な産産、産学連携支援を行う。					長野市、須坂市、千曲市、坂城町、飯綱町
事業効果	新技術・新製品の開発が促進され、圏域におけるものづくり産業の活性化が図られる。					
役割分担	連携中枢都市：中心となって実施する。 連携市町村：関係市町村と連携して実施する。					
費用負担	連携中枢都市：長野市の役割分担に係る費用は、長野市が負担する。 連携市町村：連携市町村の役割分担に係る費用は、連携各市町村が負担する。					
国県補助事業等の名称・補助率等	該当なし					
事業費（千円）	H28	H29	H30	H31	H32	合計
	31,028	31,028	31,028	31,028	31,028	155,140
重要業績評価指標（KPI）	指標	現状値（調査時点）		目標値（達成年度）		
	商品化した数	○件（平成○年○月）		○年（平成○年度）		

連携協約上の位置づけ

施策（取組）ごとのKPI

具体的な施策（事業）

事業ごとのKPI